

令和7年度 第2回岐阜市立図書館協議会 議事概要

日 時:令和7年12月22日(月)午前10時00分~11時50分

場 所:みんなの森 ぎふメディアコスモス1階 第一会議室

出 席 者:10人 (欠席委員4人)

久世 均委員(会長)、太田 千香子委員、門屋 伸子委員、浅井 彰子委員、

いずみ 凜委員、神 尚喜委員、平賀 研也委員、市川 由加里委員、

出崎 綾子委員、林 一真委員

(事務局)長尾館長、野々山副館長、近藤係長、土谷係長、川瀬係長、富長係長、

中島係長、松野副主査、山田主任

傍 聴 者:なし

議事概要:

■報告や事務局提案に対する委員からの意見

(1) 第4次岐阜市子どもの読書活動推進計画の策定に係る進捗状況について

- 第4次岐阜市子どもの読書活動推進計画の策定状況について事務局から説明
- タブレットでアンケートをしたが、何か問題点とか課題は無かったか。
⇒回収や集計作業が軽減でき、メリットが大きかった。

(2) 学習席のWEB予約サービスの開始について

- 学習席のWEB予約サービスの開始について事務局から説明。
- 利用者側からの意見などはないか。今後利用者からの意見を聞く機会があるとよいと思う。
- 利用者からの声として、友達と一緒に行つても席がバラバラになつてしまつが、友達と一緒に勉強したいので席が選べるようなシステムにしてほしいという要望を聞いている。

(3) 分館のリニューアルについて

- 分館の館内の雰囲気がのどかな感じがする。普段着で来られる、ほつとできる場所のままであって欲しい、という意見もあり、今のそいつた分館を大切に思つて利用者も多いのではないか。
- 分館の利用者層は高齢者が多いが、YAコーナーやコミックをそろえていたり、2階には音楽スタジオやパソコンコーナーがあつたりと利用実態にマッチしていない。
- 分館をずっと利用してきた利用者や愛着を持つつている人たちの声も取り入れて、新たな施策に繋げて欲しい。
- 駅の待合室のような、くつろげるスペースであつたり、岐阜に訪れた観光客をメディアコスモスに誘導したり、岐阜市を紹介する広報担当としての役割を担わすこともできる。図書館を介して駅周辺の人の流れができると面白い。
- 岐阜駅は、ビジネスマンや学生が日々利用する結節点であると同時に、岐阜に訪れる

観光客の玄関口でもある。岐阜を観光する前に岐阜の情報や郷土の魅力を得られる場所としても位置づけられる。

- ・ 1 階の分館には中高生向けの本が多くあるので、駅を利用した際にサッと本が借りることができるとか、2 階のスペースを活用して気軽におしゃべりしながら本が読めると良いと思う。
- ・ 2 階の平和資料館は、学校の平和学習の一環で子どもたちも訪れる施設である。市が作った平和資料室が駅にあるというのは、大きな意味があるので、リニューアルの際には、ぜひ組み入れて欲しい。
- ・ 初めて岐阜に来た人にも、駅に図書館があることが分かるようなサイン計画が必要である。
- ・ 1 階はこれまでの利用者層を意識した図書館、2 階は音楽スタジオもあり、若者たちの居場所としてもっと開いたスペースにし、YA やコミック、ファッション誌などを散りばめて、軽めの「ステーションライブラリー」を作るという考えもある。
- ・ 分館をどういう人が利用して、何を欲しているのかといった利用者の気持ちを大事にしながら、生まれ変わっていって欲しいと思う。